

主審と副審の役割

<主審の役割>

副審ならびにラインズマンの情報と自身の情報をもとに公平かつ厳格な判断をし、試合がルールに沿いスムーズに行われる様サポートをする。※プレー中断毎に副審とのアイコンタクトを怠らず、連携してスムーズな進行を心掛ける

<副審の役割>

ラインズマンと自身の情報をもとに公平かつ厳格な判断をし、主審をサポートしながら、試合がルールに沿いスムーズに行われる様サポートをする。併せて、記録および得点にミスがないかの確認と、ベンチからの要望や確認に対応する。※プレー中断毎に、主審とのアイコンタクトを怠らず、連携してスムーズな進行を心掛ける

主審は、本部席から記録用紙と得点板のチーム表示板(電光掲示板の場合は不要)を受取り、副審と記録、得点、ラインズマンの担当を確認し、担当コートにスタンバイする。先の各担当が揃っているかを確認する。揃った時点で3分コールの開始と終了の吹笛を行う。副審は3分を計時する。

<記録>

記録員が、経験者かどうかを確認し、経験が浅い場合はチームおよび本部席にサポート要請をする。記録用紙において、サブ順の記入やチーム名、キャプテンマークなどに漏れがないかをチェックし、両チームに監督サインを要請する。

<電光掲示板>

得点板の操作を確認し、経験が浅い場合は、チームおよび本部席にサポートを要請する。

<ラインズマン>

経験値に関わらず、ラインズマンの役割とジェスチャーを確認し、最終判断と責任が主審にあることを伝え、積極的かつ責任ある姿勢での参加を促す。併せて、配置と整列の位置も確認する。

スタート時間と全ての準備が整ったことを確認し、整列を促す吹笛を行う。(3分練習終了の吹笛)

<ベンチ>

監督・コーチ・マネージャーがバッチをつけ、定められた席についていることと、服装などに不適切なものがないかを確認する。

両チームおよび副審ラインズマン整列後、1歩前に出て、吹笛を2回(挨拶と握手を促す)とジェスチャーを行い、主審台に位置づく。

副審のサブ順チェック、記録の確認後、準備OKのサインと、サービスチームを表すサインを受け、それぞれのサインに続く。

エンドラインに整列した両チームの選手に礼を促す吹笛とジェスチャーを行う。

主審・副審はそれぞれ、コート内に両チーム9名が揃っていることを確認し、副審とサインの交換後、試合開始の吹笛とジェスチャーに続き、サービス許可の吹笛とジェスチャーを行う。

(副審は記録に試合開始時刻の確認を行う)

<タイムアウト>

ベンチからのタイムアウトの要求を受け、副審はタイムアウトのジェスチャーと吹笛を行った後、両チームの現在のタイムアウトの回数を両手で表示する。(主審も従うと同時に、電光掲示板の場合は、タイムアウトの回数が掲示板に表示されたことを確認する)

副審は記録が記録用紙にチェックと点数が記載されたことを確認する。

30秒経過後、もしくはタイムアウトを要求したチームがコートに戻った場合に、吹笛により、両チームにタイムアウト終了を知らせる。

試合再開のために、記録の確認後、コート内の選手の人数を確認し、主審にOKサインのジェスチャーを行う。
(主審も同じ確認をし、ジェスチャーに続く)

※タイムアウトの要求が同一セット内に1チーム2回となった場合、タイムアウト終了後に、そのことをベンチに伝える。

<メンバーチェンジ>

ベンチからのメンバーチェンジの要求を受け、副審はメンバーチェンジのジェスチャーと吹笛を行い、コートから出る選手と交代する選手のゼッケンナンバーを記録に伝えた後、記録に記載されたことを確認し、コート内の人数を再度確認した後に、主審にOKサインのジェスチャーを行う。(主審も同じ確認をし、ジェスチャーに従う。同時に電光掲示板の場合は、その人数が得点盤に表示されたことを確認する)

<ファール>

試合中、ファールがあった場合、もしくは、ボールがコートの内外の床に落ちた場合(障害物に接触した場合)、主審はまず、吹笛により試合を中断する。

主審は、副審およびラインズマンの情報をもとに判断をし、得点が入るチームを示すジェスチャーの後、ファールなど得点の理由を示すジェスチャーを行う。

副審はそれぞれのジェスチャーで主審に続き、決して自分の判断で主審より先にどちらの得点かのジェスチャーはせず、必ず主審の判断に委ね従う。

※副審はラインズマンの情報を確認すると同時に、自身のジャッジをまず主審にジェスチャーで伝え、最終ジャッジは主審に委ねる。

<セットの終了～チェンジコート>

どちらかのチームが15点を先取(ジュースの場合は2点差を先取)すると、セット終了のジェスチャーと吹笛を行い、両チームの選手をエンドラインに整列させた後、コートチェンジ(3セット目はベンチへの退去)の動作を促すジェスチャーと吹笛を行い、副審は吹笛なしで主審のジェスチャーに追従する。

副審は次のセット開始までの2分を計時しながら、記録の準備・進行状況を確認する。その際にベンチからメンバーチェンジがないか気を配るが、自ら確認の必要はない。一連の動作中、主審からの要求に応えることができるよう、主審側にも注意を配る。

2分経過した時点で、記録の準備を確認し、両チームに整列を促す吹笛とジェスチャーを行い、両チームの整列後サーブ順チェックのコールを行う。(2セット目以降は控え選手の確認は不要)

サーブ順に問題がないことを確認後、コート内の選手の人数を確認し、主審に準備OKのジェスチャーに続き、サーブでスタートするチームを示すジェスチャーを行う。主審はそれぞれのジェスチャーを副審に追従する。

<. 試合終了>

いずれかのチームが2セットを先取した場合、試合終了となるため、試合開始前と同様に、主審は、副審・ラインズマンが記録席前のサイドライン、両チームの選手がエンドラインに全員が整列したのを確認し、一步前に出て吹笛を3回(勝利チームを指し、挨拶と握手を促す)とジェスチャーを行う。

副審とともに両チームのキャプテンと握手を交わし、記録の最終チェックを行う。記録の確認後、本部席に記録用紙と得点板のチーム表示を届ける。